

# NPO法人 介護サービス非営利団体 ネットワークみやぎ



## 新年のごあいさつ

NPO 法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ 理事長 齋藤 境子



新しい年が明けました。介護ネットみやぎは、設立 15 年目を迎えました。この節目の年に当たりもう一度設立趣意をひも解いてみました。

「いつでも、どこでも、だれでも、安心して生活するために必要な介護サービスが提供される制度を実現するために、各方面に働きかけます。すべての人が最良の人生を送れるように、介護サービス提供者や家族、ボランティアといった「力」が協同しうるネットワークを作り上げます。介護サービスは複雑で、根気がいり、過酷な仕事です。そして常に研修・向上が求められる仕事でもあります。しかし、現在の身分保障はそれに見合ったものとはいえません。私たちは社会的にも経済的にも介護サービス提供者の身分の向上のために努力します。高齢者の「自立」「参加」「ケア」「自己実現」「尊厳」を前進させ、豊かな社会保障を実現するために『介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ』を設立しました。」

この趣意の下この 14 年間 1) 2000 年に施行された介護保険制度をよりよくするための活動を中心にすえ 2) 会員事業所の介護サービスの質の向上のための研修と情報交流 3) 県内の介護事業サービスの質の向上に貢献するため、①情報の公表調査機関及び②地域密着型外部評価機関として調査員・評価員の養成に努め実績を重ねてきました。1) に関して、昨年末厚労省社会保障審議会介護保険部会は介護保険制度の見直し案を発表しました。主たる変更は「①要支援 1・2 の通所・訪問介護を保険から外し、市町村事業へ移行する ②特養入所は介護度 3 以上 ③高所得者（年金 280 万以上）利用料は 2 割負担に」というものです。①要支援 1・2 の通所・訪問介護の保険外しは、利用者の立場でみると住むところによって内容・単価などに差が出ること、要支援者に占める初期認知症状のある方の多さを考えるとボランティアにというのは不安ですし、事業者の立場からみると単価が下げられ、職員処遇もままならず人材確保が困難という事態に陥ることが予測されます。今後認知症の増加が大きな問題になると危惧されている時に、これは見過ごせない事態だと考えます。本年は年初からこの見直し案を見直させる運動に本気で取り組まねばと肝に銘じています。そして、被災から 3 年を経ようとする現在も劣悪な仮設住宅と復旧ままならない地域での生活を強いられている方々に心を添わせ、引続き被災者の介護保険利用者負担減免・免除を求める声も上げてまいります。3) に関しては、昨年 8 月宮城県福祉サービス第三者評価機関としての認証を受け、新年より事業開始となりますが、第三者評価事業はより高い客観性・専門性を求められており緊張感を持って新しい年を迎えております。

役職員一同心を併せて新舊事業に誠実に当たって参る決意です。何卒よろしくお見守りご指導いただけますようお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します

### 介護ネットみやぎの基本理念

私たちは、いつでも、だれでも安心して暮らせる社会をめざしています。介護が必要な人にとって、体のケアだけでなく、心のケアも念頭においた利用者本位のケアプランが作成され、安心して介護サービスを受けられることが最も大切です。私たちは知恵と力を合わせ、良質な介護サービス提供と健全な事業運営のためにいっそうの研修にはげむとともに情報を共有しネットワークをひろげ、もって要介護者と介護者の人権擁護（尊重）、地域住民の福祉向上に資することを目的とします。

**介護ネットみやぎ参加団体** 宮城県生活協同組合連合会・みやぎ生活協同組合・生活協同組合あいコープみやぎ・松島医療生活協同組合・みやぎ県南医療生活協同組合・JA宮城中央会・公益財団法人宮城厚生協会・宮城県高齢者生活協同組合・社会福祉法人仙台ビーナス会・社会福祉法人こーぷ福祉会・社会福祉法人宮城厚生福祉会・特定非営利活動法人ゆうあんどあい・特定非営利活動法人WACまごころサービスみやぎ・特定非営利活動法人ひまわり・特定非営利活動法人ほっとあい・特定非営利活動法人グループゆう・協同組合日専連仙台・宮城県民主医療機関連合会・宮城県労働者福祉協議会・宮城県医連事業協同組合・社会福祉法人みんなの輪・企業組合労協センター事業団東北事業本部

### ●2013 年度総会第 3 回理事会開催報告

2013 年 12 月 11 日（水）14 時からフォレスト仙台 5 階 501 会議室にて、理事 7 人と監事 2 人の出席、書面出席 2 人で開催しました。

議題は、議決事項 1. 福祉サービス第三者評価事業評価審査委員会設置要綱決定の件、2. 個人情報保護方針決定の件、3. 2014 年度総会日程変更の件（2014 年 6 月 11 日（水）を 2014 年 6 月 12 日（木））が提案され、議決されました。

報告事項として、1. 第 4 回実務担当者会議報告（11 月 14 日）、2. 2013 年 11 月度決算報告、3. 「情報の公表」調査事業報告、4. 地域密着型サービス外部評価事業報告、5. 福祉サービス第三者評価事業報告、6. 介護保険制度政策立案チーム報告、7. その他として、フィンランド視察研修企画、「司法修習生に対する給費の実現と充実した司法修習を求める要望書」への賛同のお願い、外部研修会参加企画報告がありました。

### ●2013 年度第 4 回政策立案チーム会議報告

2013 年 12 月 11 日（水）、11 時から 13 時まで、フォレスト仙台 5 階 501 会議室において、齋藤昭子座長、入間田範子さん、佃十尚さん、芳賀紀子さん、齋藤境子理事長、鈴木由美事務局長、寺岡良一事務局担当が出席して開催しました。

前回、介護保険法改定に向けての要望書の項目を決めたことから、今回は具体的な要望内容の記述と要望項目の解説及びその背景の文案について検討しました。

介護保険法改定に向けてこの間、世論では多くの反対の声があがり、国の介護保険改定に対する意見や要望の働きかけが行われています。政府案がこのまま実行されれば、利用者・事業者双方にとって厳しい状況になることが予想されることから、介護保険の本来の目的達成に向けて、活動することが重要です。

要望項目は、介護ネットみやぎの参加団体事業所に広く賛同を求められるような共通の内容となるよう、3 項目（1. 「要支援 1、2」と認定された要支援者への訪問介護サービスと通所介護サービスについても、全国一律の介護保険制度における保険給付として継続すること 2. 急務である介護の人材確保のために、更なる処遇改善が実施できる報酬体系にすること 3. 介護保険料・介護サービスの利用料をできるだけ抑制するために、国の負担割合を引き上げること）としました。

また、今回要望項目に挙げなかった、介護の現場に第三者の目がある重要性と公表される情報をより確実にするために、情報の公表制度の充実及びすべての地域密着型サービスが外部評価を実施することについては、別の機会に要望することにしました。要望書は、参加団体の事業所に署名協力をいただき、2014 年 3 月に厚生労働大臣宛提出する予定です。

その他には、宮城県社会保障推進協議会の自治体キャラバン報告、東日本大震災被災者に対する医療費一部負担金免除措置と介護保険利用者負担減免措置の復活に関する要望書と質問事項の回答の報告を行いました。

自治体キャラバン報告では、被災地域では、デイサービスなどの介護サービスのニーズはあるのに、サービス提供の介護施設がなかなか復帰していないことが上げられ、施設休止は、被災地に震災前の人口が戻らず利用者の見通しが立たないことや職員の確保が出来ないなど原因となっている。また、介護施設は復旧の補助金が他に比べて低いことや補助の対象が一度限りなど、復旧に厳しい状況にあることの情報交換が行われました。医療に関しては、国に対してかなり強い要求を何度も行った結果、補助が厚くなった経緯もあり、要求の重要性も再確認しました。

#### 第 5 回実務担当者会議・拡大研修会のお知らせ

日 時 2014 年 2 月 21 日（金）13：30～17：00

場 所 フォレスト仙台 2 階 第 5・第 6 会議室

講 演 (13：30～15：30)

「どうすれば利用者本位サービスを担うプロになれるか

納得力をフルに発揮するモチベーションクリエイターを目指せ！」

講師 久田則夫さん（日本女子大学 人間社会学部教授）

● 2013 年度第 2 回情報の公表調査実務向上検討委員会報告

2013 年 11 月 15 日（金）10 時 30 分から 12 時までフォレスト仙台 5 階介護ネットみやぎ事務所において 8 人の出席で開催しました。2013 年度第 2 回「情報の公表」「外部評価」調査員合同研修会の研修内容を検討し、「情報の公表」は、新人調査員の紹介、学習会、訪問調査留意点についての説明、「外部評価」はグループワークを行うことを確認しました。

● 2013 年度第 2 回「情報の公表」「外部評価」調査員合同研修会開催報告

2013 年 11 月 28 日（木）10 時 30 分から 15 時までフォレスト仙台 5 階 501 会議室において調査員 39 人が参加しました。

午前の部では、新人調査員と事務局体制を紹介し、介護サービス情報の公表の調査票や訪問調査で気をつけることなどについて確認しました。次に、嵐田光宏さん（介護ネットみやぎ理事、袋原・西中田地域包括支援センター所長）から「地域包括支援センターとは？」と題して地域包括支援センターの役割や地域包括ケアシステムについて分かりやすく説明していただきました。地域包括支援センターは、地域の高齢者の方を介護・健康・福祉・医療など様々な面から総合的に支援する目的で中立・公正に運営される公的な機関として平成 18 年 4 月に設置されました。全国に 4,900 ヶ所、仙台市に 49 ヶ所設置され中学校区に 1 つの設置を目指し、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士で構成されています。（仙台市では委託事業となっている）全国の包括支援センターからアンケートをとった結果、1 番目に大変な業務として 3 割が総合相談、次に介護予防ケアマネジメントが上げられているそうです。その他に介護予防教室の開催、地域防災会議、地域ケア会議、地域密着型サービス事業所運営推進会議への参加などを通して地域のネットワーク作りに努め、介護給付の中心的な役割を担っています。また、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、住まい・医療・介護・予防・生活支援の 5 つを柱とした地域包括ケアシステムの構築を目指しています。嵐田さんの説明から介護保険制度の改正内容について学び、これからの課題などを考える機会となりました。



講師の嵐田光宏さん

午後の部は、「外部評価」調査員の研修としました。始めに、小規模社会福祉施設の防火安全指針（横浜市消防局予防部指導課発行資料）について入間田範子副理事長が説明しました。この指針は、法令で定めるもの以外に防火・避難に関する提案で、それぞれの立場で火災を知り、どう備えておけばいいのかを考えるために作成されました。必ずしも指針がすべてではなく、施設の実情に応じて選択し実行できるように作成されており、外部評価の訪問調査においてどこに視点をおくべきかなど基本的な考え方を示した資料でとても参考になりました。最後に、調査員が 5 グループに分かれ、「調査員として気になったこと、困ったこと」「『外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点』にどんなことを書くか」について話し合い、発表しました。出された意見は今後の調査や研修に活かし、調査員のスキルアップにつながるように検討していく予定です。

地域のネットワーク構築

地域の高齢者の方が、住み慣れたこの地域でいつまでも自立した生活が送れるように地域を支える関係機関、医療機関、ボランティア団体、サービス事業所などのネットワーク作りに努めています。



## ● 参加団体活動紹介報告

### 社会福祉法人仙台ビーナス会

四郎丸ヘルパーステーションは社会福祉法人仙台ビーナス会の事業所として、平成13年5月に開所し12年が経過しました。四郎丸地域は、市営住宅が多く高齢化率が高く、独居、老老介護、認認介護の多い地域です。特に認知症高齢者が多く包括支援センター、居宅支援事業所、他団体とも連携をとりながら地域の方々の支援をさせて頂いております。

平成24年の介護保険制度改正に伴いサービスの時間の削減等ありましたが、サービスの依頼も多くあり事業所としては何とか乗り切ることが出来ました。今年度は介護保険外サービスの依頼も徐々に増えております。

今後の展開として仙台ビーナス会では、平成26年度に特定施設第三白東苑（仮称）と往診クリニックの開設を予定しております。四郎丸ヘルパーステーションとしては、医療と介護の連携をとりながら地域包括ケアの一助を担える事業所を目指したいと思います。

（四郎丸ヘルパーステーション 佐藤尚子）



四郎丸ヘルパーステーションの皆さん

### 公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合クリニック通所リハビリでは、心身機能の維持・回復を目標に集団体操やレクリエーション、手作業を行っています。リハビリスタッフによる個別訓練では、生活状況の聞き取りや実際に訪問させていただいて、より安全に自宅で過ごせるように生活に合わせたリハビリを行っています。今年度からは看護師が中心となり口腔機能向上訓練も開始しています。定員20名の利用者さまと毎日楽しい時間を過ごし、今年はベランダでのプランター菜園に挑戦。秋には干し柿作りを行い、院内保育園児との交流では、駒・あやとり・お手玉を教えてくれて、利用者さまが今まで培った経験を様々な場面で発揮してもらっています。これからも頭も身体も気持ちも活発になるようお手伝いしていきたいと思っております。

（坂総合クリニック 坂本枝美子）



プランター菜園作業の様子

NPO 法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ <http://www.kaigonet-miyagi.jp/>

事務局 〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台

TEL 022-276-5202 ・ FAX 022-276-5205 E-mail : sn.mkaigonet2@todock.jp